

令和7年度 防災活動 報告

2026.3.1(日)
井吹西防災福祉コミュニティ



活動内容

- ① 救急救命講習
(井吹西フレア集会所)
- ② 防災機材庫の講習
(深谷公園)
- ③ 秋祭りカレー炊出し
(井吹西フレア広場)
- ④ **防災合同訓練 ← 新規**
(北町思い出広場)

① 救急救命講習

- 日時：7/27（日）10：00～11：30
- 場所：井吹西フレア集会所
- メンバー
受講者：22名
講師：3名（内、消防士2名）
スタッフ：4名

講習内容

◆ AED機材の説明と実演（3班）

救急処置の手順 （6項目）

- 手順
1. 安全の確保
 2. 反応の確認
 3. 助けを呼ぶ
 4. 呼吸の確保
 5. 胸骨圧迫
 6. 人工呼吸
- AED到着後、使用



緊急救命の手順説明



訓練状況（胸骨圧迫、AED）

① 講習後のQ&A (8項目)



- ◆ 小児モードの切替SW
- ◆ 雨天時の使用大丈夫

⇒ 機器によりSWあり
⇒ 濡れない場所、傘をさす

注：胸骨圧迫時、衣服着用まま。AED時、脱衣(タオルを掛ける配慮要)

- ◆ 人工呼吸はしないのか

⇒ コロナ渦以降、感染症リスクあり
効果はあるので、近親者で行う

- ◆ 使い終わったAEDは
- ◆ 体毛の多い方は
- ◆ ペースメーカー装備の方
- ◆ 女性用下着は
- ◆ 小学生も救命行為をOK

⇒ 1回で使い切り。交換、リース品有り
⇒ 除毛(剃刀、パット等)
⇒ 装着部を外せば対応可能
⇒ 脱衣(周囲から見えなくする配慮要)
⇒ 可能(万が一のため受講し役立てる)

② 防災資機材庫の講習

- 日時：9/28（日）10：00～11：30
- 場所：井吹西深谷公園
- メンバー
西消防署（2名）、役員（5名）、
自治会/管理組合（14名）



講習内容

◆ 資機材庫内の備品確認、救助訓練

（資機材庫：深谷公園設置）

◆ 水消火機材の装着実演

（消火水栓：深谷公園近く、その他にもある）

◆ 災害時臨時給水栓の飲料水給水訓練

（ふっQすいせん：井吹西小学校南側）



③ 秋祭りカレー炊出し

(防災時の訓練も兼ね
昨年に引続き2度目)



- 日時 : 11/2 (日)
- 場所 : 井吹西フレア広場
- スタッフ : 防コミ(7名)、中学生(5名)
- 提供数 : **500食超**
(予定数より大幅追加)



炊出しカレーに関するアンケート回答

- ◆ 長蛇の列、並ぶ側も災害時を
思う良い機会となった。
- ◆ 美味しいカレーを頂きました。
スタッフの皆様お疲れさまでした。



④ 防災合同訓練（西神南貯水槽の応急給水訓練） （井吹西町、訓練に初参加）

➤ 日時：11/28（日）10：00～11：30

➤ 場所：井吹台北町 思い出広場

➤ メンバー

指導：東町/北町役員(3名)

参加者：西町役員（2名）、自治会/管理組合（9名）

訓練項目

1. 防災時給水マップ説明
2. 大型貯水タンクの説明
3. 応急給水訓練の実施

④ 1. 防災時給水マップの説明

西区内の設備：12ヶ所

『⑦西神南貯水槽』が北町の井吹
思い出広場あります。

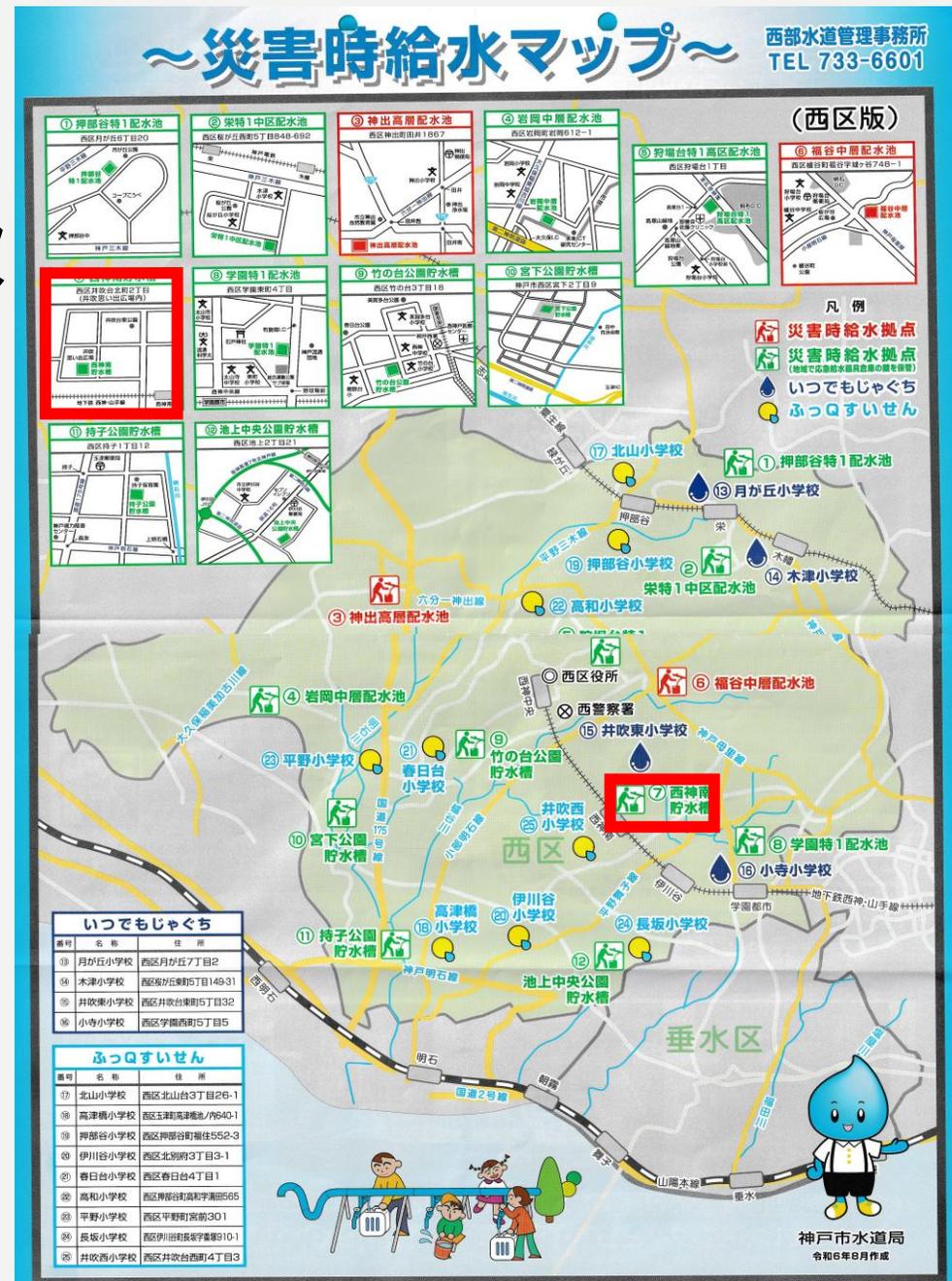
貯水槽は、公園内の地下に埋設
(容量：500トン) されてます。



西神南貯水槽(埋設状況)
(井吹思い出広場)



ふっQ水栓
(井吹西小学校)



④ 2. 西神南貯水槽の説明

- 通常は水道管の一部として利用
- 連結を緊急的に遮断、タンク内に飲料水確保
- 貯水槽内の排水管の水圧が下がると、手動式ポンプで汲み上げ



緊急給水設備庫

豆知識

既設：平成17年(2005年)3月

埋設：地下2メートル

水量：250m³×2基(タンク)=500トン

24,000人(3ℓ/日・人) ⇒7日分

耐久年数：50年から100年

(タンク内外に対腐食・衛生面のハイテク技術導入)

その他、淀川水源から六甲山系地下60_{メートル}以上に半径

1.5_{メートル}送水管が、長期には、こ送水管内が全て飲料水。



④ 3. 応急給水訓練の実施 (井吹東町/北町との合同)

本訓練では、設備・備品の説明、
装備への接続手順(I～IV)、
手動ポンプの操作等を実施した。

- I タンク配管、バルブ
- II 手動ポンプ
- III メインホース
- IV 蛇口



I タンク・バルブ室接続



II 手動ポンプの接続



III, IV メインホースと給水蛇口の接続

④ 訓練を終えて

- ◆ 本設備の存在を**西町住民に報告**して知ってもらおう。
- ◆ 本訓練を機会に、**町を超えて西神南全体で防災活動**ができることを狙っております。
- ◆ 我がまちにある**防災設備・安全避難経路を確認し、お互いに協力し合える防災関係づくり**が重要。
⇒次年度の活動計画(案)で**ウォークラリー**等を考えたい。

防災ウォークラリー(案)

目的 (現状の防災で情報不足ないか?、机上の作業で大丈夫か?)

- ◆ 防災設備の種類と設置場所の確認
- ◆ 緊急避難場所への経路で危険個所の把握
- ◆ 災害時を想定した炊出しで食事の確保

例：新たに防災活動 (⇒移動)

【案】① 防災設備の種類と設置場所

地域福祉センター⇒北町思い出広場(大型タンク) ⇒谷口公園探索、炊飯・炊出し

【案】② 緊急避難場所への経路

自宅⇒避難場所(各公園) ⇒地域福祉センター(本部)集合(危険個所の洗い出し：人・物・かね で整理)

【案】③ 地域福祉センター⇒西町内の防火水栓・水槽の確認探索

【案】④ 水消火水栓の放水訓練(男性班、女性班で実施)

ありがと
うござい
ます



井吹西ふれあいのまちづくり協議会 / 防災福祉コミュニティ